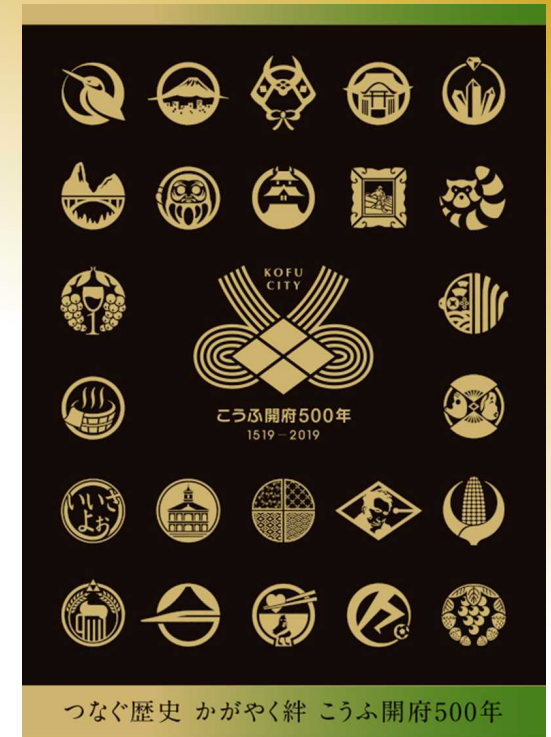


リニア中央新幹線の開業を迎える 甲府市の取り組み



こうふ開府500年
1519 - 2019

～想い・描く 中核市・こうふ～
2019.4.1移行



©Central Japan Railway Company. All rights reserved.

1. 甲府市の概要

◆位置・地形

- ・ 東京都心から西へ約 100 km の距離
- ・ 山梨県のほぼ中央に位置
- ・ 市域は、東西15.3 km、南北41.5 km
- ・ 面積212.47平方Km
- ・ 南に富士山、北に八ヶ岳、西に南アルプス連峰

◆人口・世帯数

- ・ 人口 189,077人
- ・ 男性 91,574人
- ・ 女性 97,503人
- ・ 世帯数 90,715世帯
(平成30年11月1日現在)

◆沿革

- ・ 市政が施行されたのは、明治22年7月1日であり、関東では、東京、横浜、水戸に次ぐもので、全国では、34番目となる。そして、来年度には、市政130周年を迎える。



2. リニア駅周辺整備の取り組み

◆リニア駅周辺（24.5ha）整備の整備内容等について

リニア環境未来都市の創造に向けた取組

■ 駅周辺の役割

- ・ 本県の新たな玄関口として、県内各地との円滑な移動手段の確保(交通結節機能)と様々な交流や活動の拡大を推進
- ・ 山梨の強みを最大限に発揮し、本県の魅力を国内外に広く情報発信
- ・ 地域住民をはじめ広く県民にとっても魅力ある空間を提供

■ 駅周辺の整備

- ・ 交通エリア、観光交流・産業振興エリアに区分し、利便性の高い、魅力的な各種施設を整備
- ・ 防災対策に配慮するとともに、クリーンエネルギーや県産材の活用などによる特色ある整備

「交通エリア」

- ・ 中央自動車道スマートインターチェンジに直結する道路
- ・ リニアや高速バスを利用する者のためのパーク＆ライド用駐車場
- ・ 利用者の乗降場などを備えた駅前広場（一般交通を駅北口、公共交通を駅南口）
- ・ 新山梨環状道路からの進入路や、駅北側と駅南側を結ぶ南北自由通路

「観光交流・産業振興エリア」

(これまでの議論において、検討された機能・施設等)

- ・ 国内外の観光客や県民が利用する情報発信機能やサービス提供機能を有する施設
- ・ 様々な交流・活動の拡大を図るコンベンション機能などを有する交流施設やイベント広場
- ・ 駅近郊における産業集積の呼び水となるインキュベーション機能や研究開発機能を有する産業振興に資する施設
- ・ 多くの人々に魅力的な空間を提供する緑地や施設利用者のための駐車場

リニア開業効果の全県への波及

■ 交通ネットワークの整備

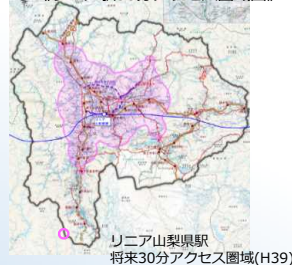
- ・ 主要幹線道路等の整備によるリニア駅30分アクセス圏域の拡大、県内バス交通ネットワークの再編・整備

リニア駅から30分到達圏人口カバー率
H27 実績値 62.5%
⇒ H28 実績値 66.0% に上昇

■ 広域的観光地づくりの推進

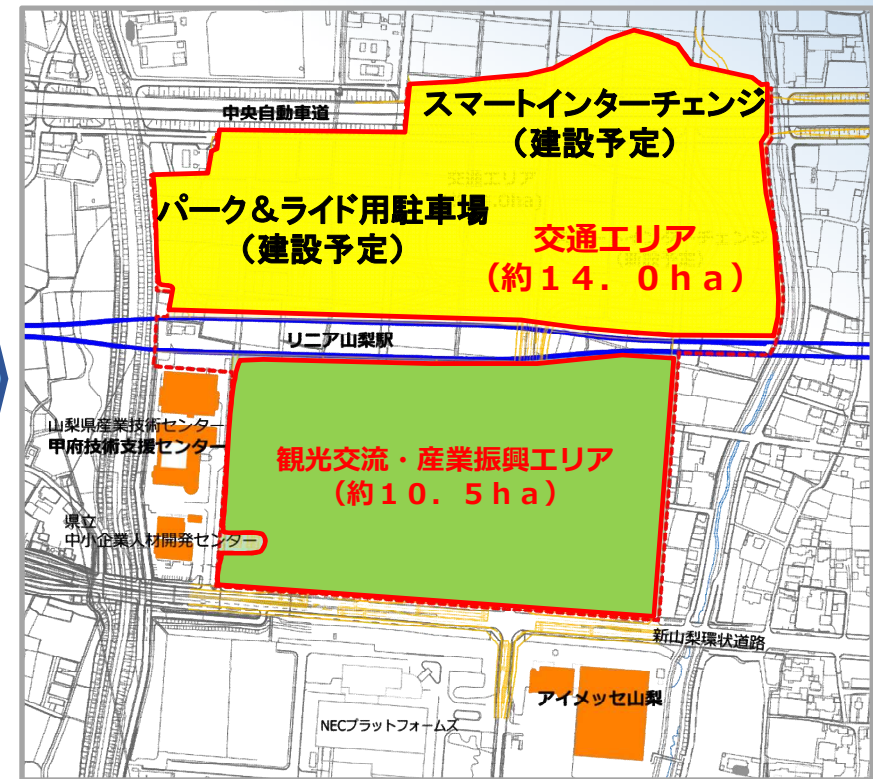
- ・ 国内外からの交流人口を拡大させるため、広域的観光地づくりを推進

《リニア駅30分アクセス圏域図》



「世界に開かれた交流拠点」

～新しい価値の創造～



所在地：甲府市大津町地先 規模：約25ha

用途指定等：市街化調整区域

資料提供：山梨県HP等

3. 甲府市の取り組み【甲府市リニア活用基本構想】

◆ リニア活用基本構想策定の趣旨

リニア中央新幹線の「（仮称）リニア山梨県駅」（以下「リニア駅」という。）が設置される甲府市では、リニア開業による効果を最大限に享受し、甲府市の活性化につなげるため、市域全体を対象として、リニア時代を見据えたまちづくりの基本的な考え方や施策の方向を示し、市民の皆様と協働で施策展開を図ることを目的に「甲府市リニア活用基本構想」（以下「リニア活用構想」という。）を平成29年3月に策定しました。

※山梨県の「リニア環境未来都市整備方針」は、リニア駅周辺（約24ha）に整備する施設や機能などの基本的な内容、リニア駅近郊（駅から4km程度）の目指すべき姿とその実現に向けた取組を示した指針として策定しています。

◆ 計画期間

2017（平成29）年からリニア開業年である2027年までとします。

なお、社会経済情勢の変化や新たに発生する需要などを勘案する中で、必要に応じて見直していきます。

◆ 上位計画等との整合

リニア活用構想は、国の「首都圏広域地方計画」、県の「リニア環境未来都市整備方針」並びに「第六次甲府市総合計画」、「甲府市人口ビジョン」、「こうふ未来創り重点戦略プロジェクト」及び「甲府市都市計画マスタープラン」等との整合性を図ります。

◆ まちづくりの課題

■ 豊かな自然環境の保全と良好な住環境の創出

- 豊かな自然環境の保全
- 豊かな自然と都市機能が調和した住環境の創出

■ 訪日外国人への対応

- 外国人観光客の受け入れ環境の充実
- 留学生受入れ環境の整備

■ 雇用の拡大と人口減少・少子高齢化への対応

- 企業誘致のための環境整備
- 人口減少・少子高齢化に対応した住環境の整備

■ 歴史に触れる魅力あるまちづくりの創出

- 歴史の香り漂う魅力あるまちづくりを創出
- 歴史文化資源を活かした観光メニューの創出

■ リニア中央新幹線を活かした都市間連携の強化

- 周辺都市との連携の強化
- 県内観光地との連携の推進
- 大都市圏との持続的連携体制の構築

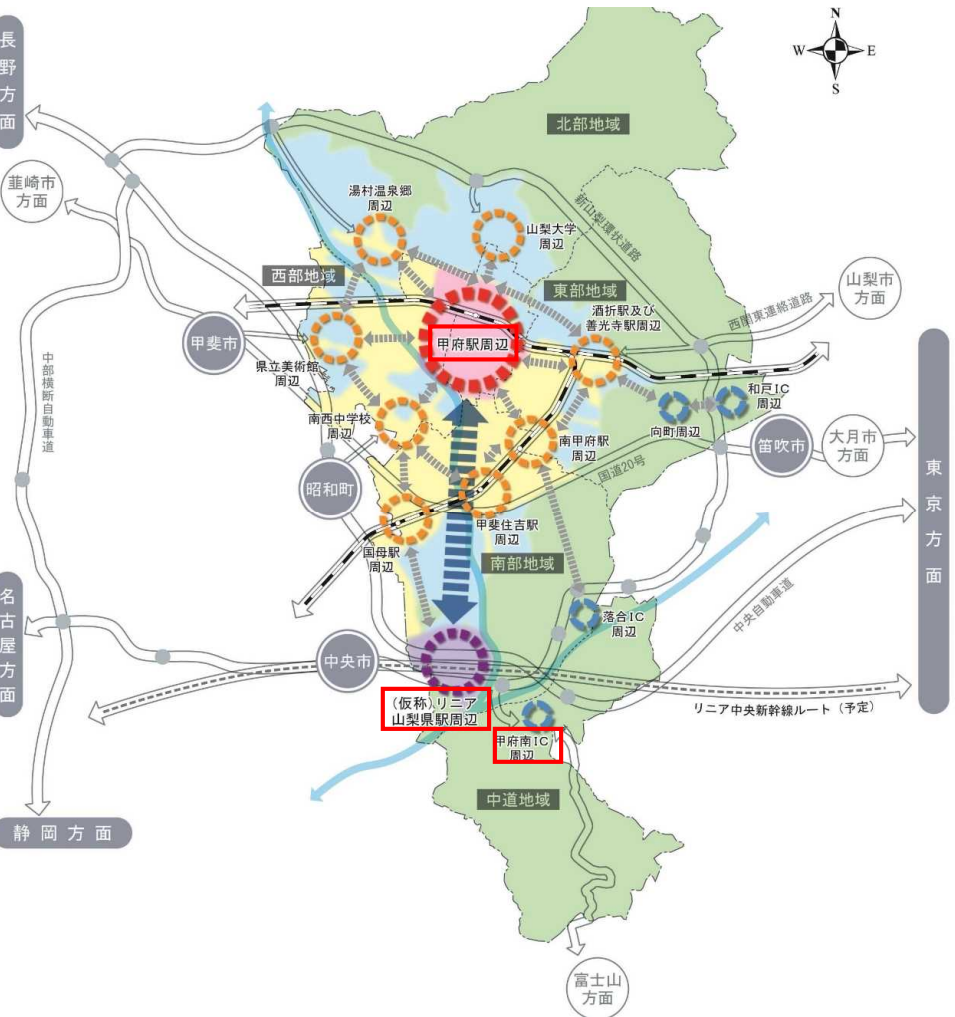
3. 甲府市の取り組み【甲府市リニア活用基本構想】

◆ 主な具体的取り組み内容

都市像	目 標	内 容	施 策	まちづくりプロジェクト
人・まち・自然が共生する未来創造都市 甲府	移住・定住の促進	リニア中央新幹線の高速交通機能と本市の自然豊かな地域特性を活かし、豊かな緑地空間を備えた景観に配慮した良好な住環境を整備し、首都圏や中京圏等からの移住促進を図るとともに、本市の強みである農地や森林を有効に活用し、生活環境の向上やライフスタイルの多様化に対応する。	1 まちなか区域等の生活基盤の整備 2 農地の活用 3 中山間地の活用	① まちなか区域・地区拠点への移住・定住の支援及び公共交通ネットワークの構築 ② 農地の継続的な活用及び農業の魅力発信 ③ クリーンエネルギー（木質バイオマス等）への取組・自然体験ツアー等の充実
	国際交流都市への構築	リニア中央新幹線の開業を通じて、新ゴールデンルートが形成され、インバウンド観光の飛躍的な拡大が期待されることから、外国人観光客のニーズに合った着地型観光の新規開発や地域資源の魅力向上とともに、留学生等との交流推進や市民の外国語及び外国文化学習機会の増進を図る。	4 外国人観光客の誘客促進 5 留学生等との交流推進 6 国際教育の充実	④ インバウンド着地型観光の拡充 ⑤ 産学官の連携による留学生等の受入れ環境等の充実 ⑥ 外国語及び外国文化講座等の開催
	産業振興の推進	豊かな自然環境や子育てしやすい生活環境等が整っている本市では、リニア開業効果による大都市圏との時間距離が短縮され、企業立地のポテンシャルが高まることから、新たな企業への事業用地の確保や優遇施策の他、市有地の有効活用を展開し、雇用創出に向けた企業誘致を積極的に図る。	7 企業誘致（用地の支援） 8 企業誘致（補助金等による支援） 9 市有地の活用	⑦ 企業向け事業用地の支援 ⑧ 産業集積の推進 ⑨ 公共施設等マネジメントの推進と市有地の利活用
	歴史物語都市への整備	リニア中央新幹線の開業を通じて、国内外の旅行客の飛躍的な増加が見込まれることから、本市の強みでもある古代・中世・近世の歴史資源の有効活用や魅力向上を図るとともに、市民や旅行者の学習達成感が満たされるよう、優秀な歴史総合案内の人材を育成する	10 歴史資源の魅力向上 11 歴史資源の活用 12 歴史総合案内の人材育成	⑩ 武田氏館跡及び甲府城跡周辺地域の整備 ⑪ 甲府の歴史資源を活用した観光メニューの開発 ⑫ 歴史ロマン総合ガイドの育成
	都市間連携の推進	リニア中央新幹線の開業を通じて、都市の新しい魅力づくりや付加価値を創出するため、都市間の「連携のかたち」を形成する必要があることから、「甲府都市計画区域（甲府市・甲斐市・中央市・昭和町）内都市のまちづくり連携」及び「県内都市との観光連携」、「大都市圏内都市との連携」を設定し、それぞれの目的に沿った連携強化を図る。	13 甲府都市計画区域内都市連携 14 県内都市連携 15 大都市圏内都市連携	⑬ 甲府都市計画区域内都市とのまちづくり連携 ⑭ 県内都市との観光連携 ⑮ 首都圏及び中京圏内都市との連携

3. 甲府市の取り組み【甲府市都市計画マスタープラン】

～目指すべき将来都市構造～
【集約と連携による持続可能な都市構造】



◆拠点・地区

名 称	方向性	位 置
広域都市拠点	高次な都市機能が集約され、既存ストックを活かしながら、居住誘導を図るとともに、山梨県の政治、経済及び文化をけん引する拠点	甲府駅周辺
広域交流拠点	(仮称) リニア山梨県駅をもう一つの玄関口として活用し、国内外の広域交流の促進による産業や観光の振興、緑が多くゆとりある居住の確保を図る拠点	(仮称) リニア山梨県駅周辺
地区拠点	公共交通による到達が可能で、身近な日常生活に必要な商業、医療、子育て等の都市機能を維持し、必要に応じて施設の立地を誘導することで、周辺における人口集積地域※の生活利便性を高める拠点	南甲府駅周辺、甲斐住吉駅周辺、酒折駅・善光寺駅周辺、山梨大学周辺、湯村温泉郷周辺、県立美術館周辺、南西中学校周辺、国母駅周辺
特定機能補強地区	工業や商業等の産業機能、身近な生活機能等に特化した地区又は今後これらの機能を維持し、必要に応じて補強を図る地区	和戸IC周辺 (アリア含む)、落合IC周辺 (機械金属工業団地含む)、向町周辺、甲府南IC周辺 (甲府南部工業団地含む)

広域都市拠点

広域交流拠点

地区拠点

特定機能補強地区

まちなかゾーン

複合市街地ゾーン

ゆとり住居ゾーン

リニア駅近隣市街地ゾーン

郊外・里山ゾーン

広域連携軸

都市基幹軸

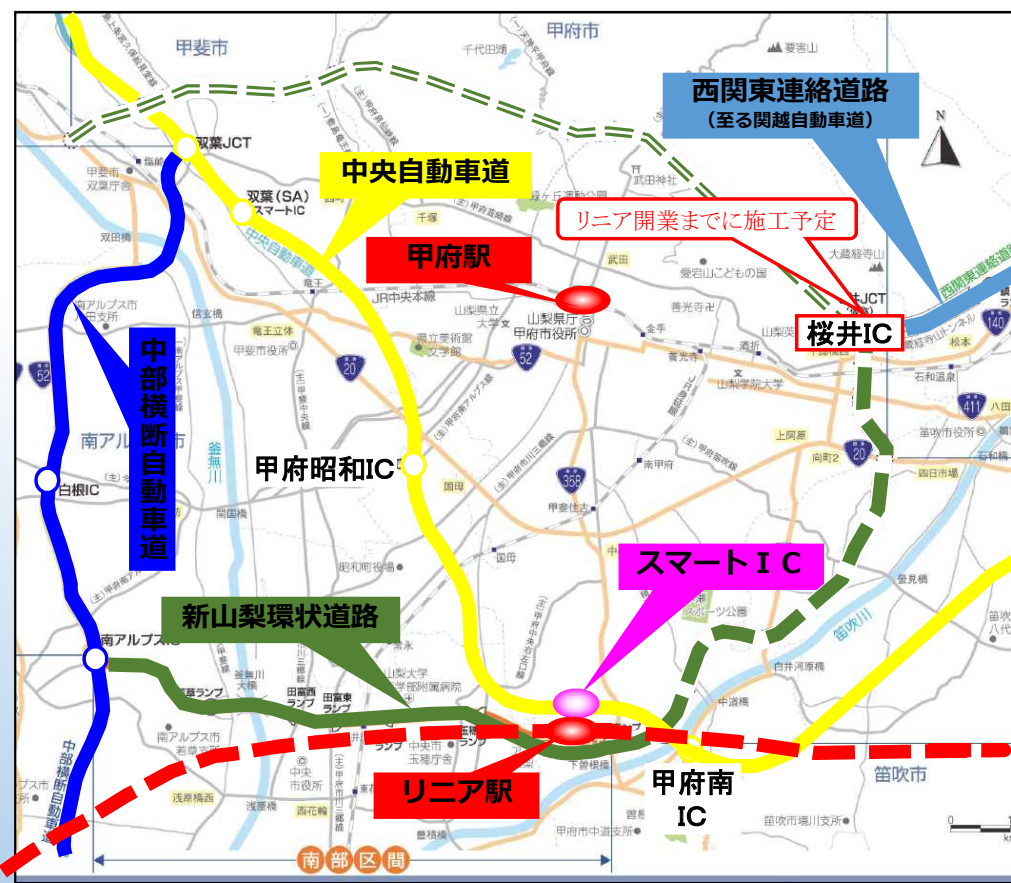
地域連携軸

水と緑の軸

【地区の配置】

4. 今後のまちづくりの可能性の検討

～リニア駅と高規格道路等との位置関係～



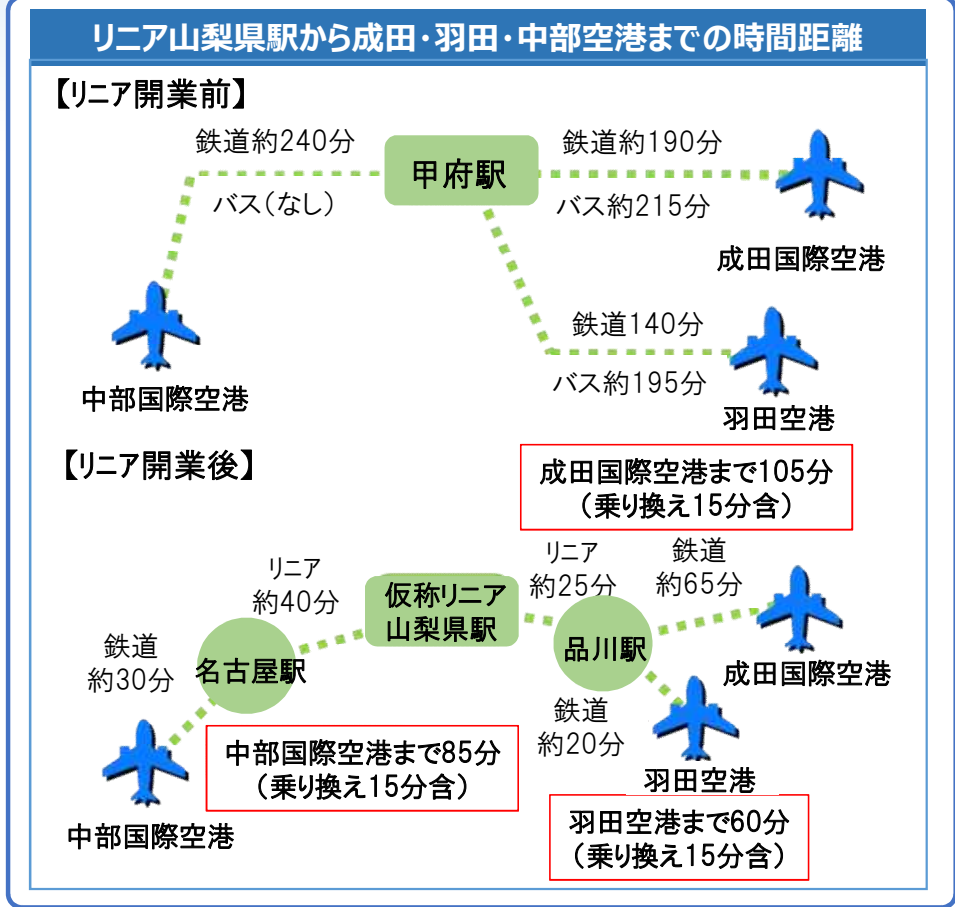
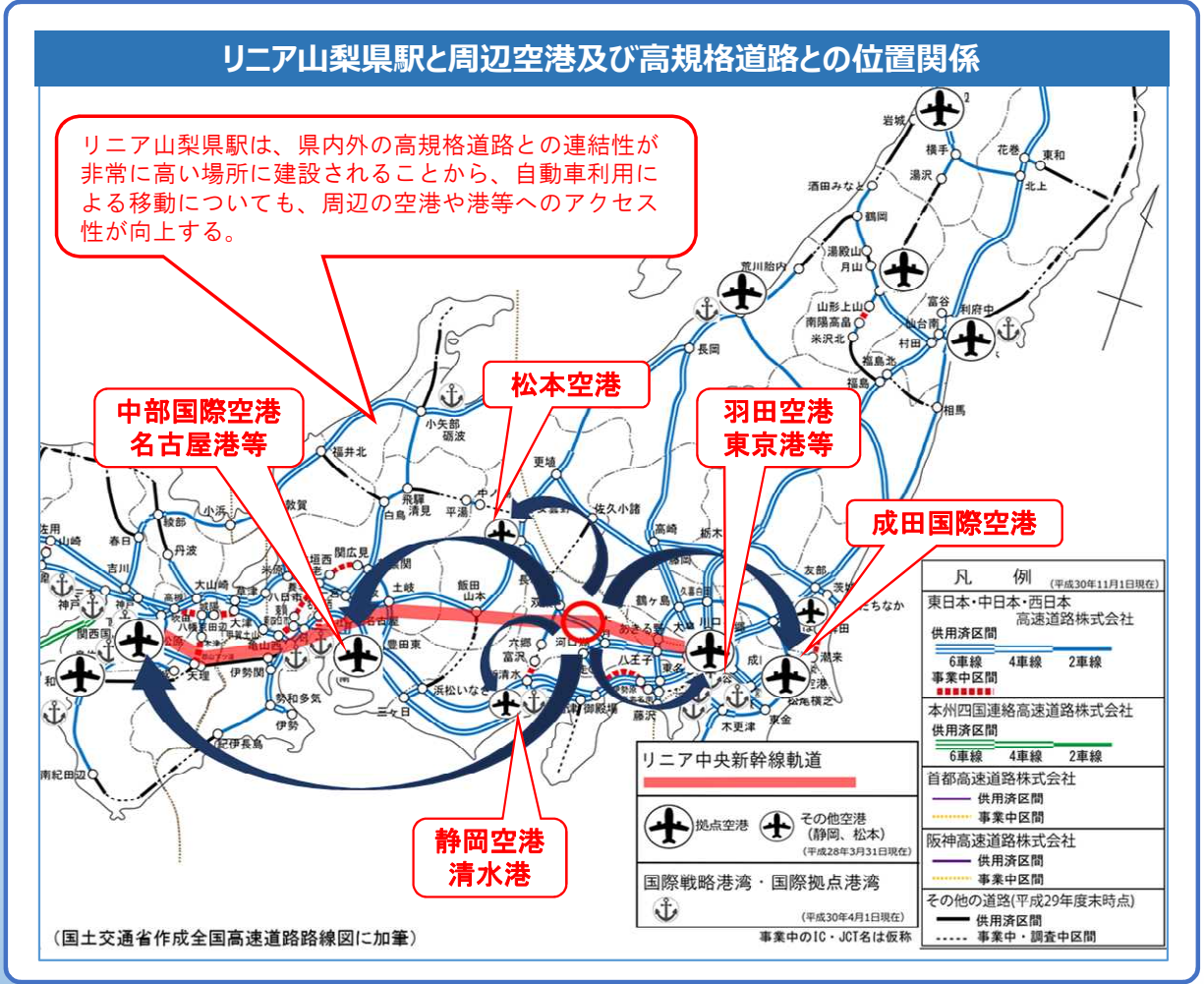
～凡例～ 【実線】⇒施工済 【破線】⇒施工予定 【2重破線】⇒施工未定



- 【県内外の高規格道路との優れた連結性】
- 県内の高規格道路との優れた連結性
 - 県外の高規格道路との優れた連結性

4. 今後のまちづくりの可能性の検討

～リニア駅と空港等及び高規格道路との位置関係等～



【アクセス性の飛躍的な向上】

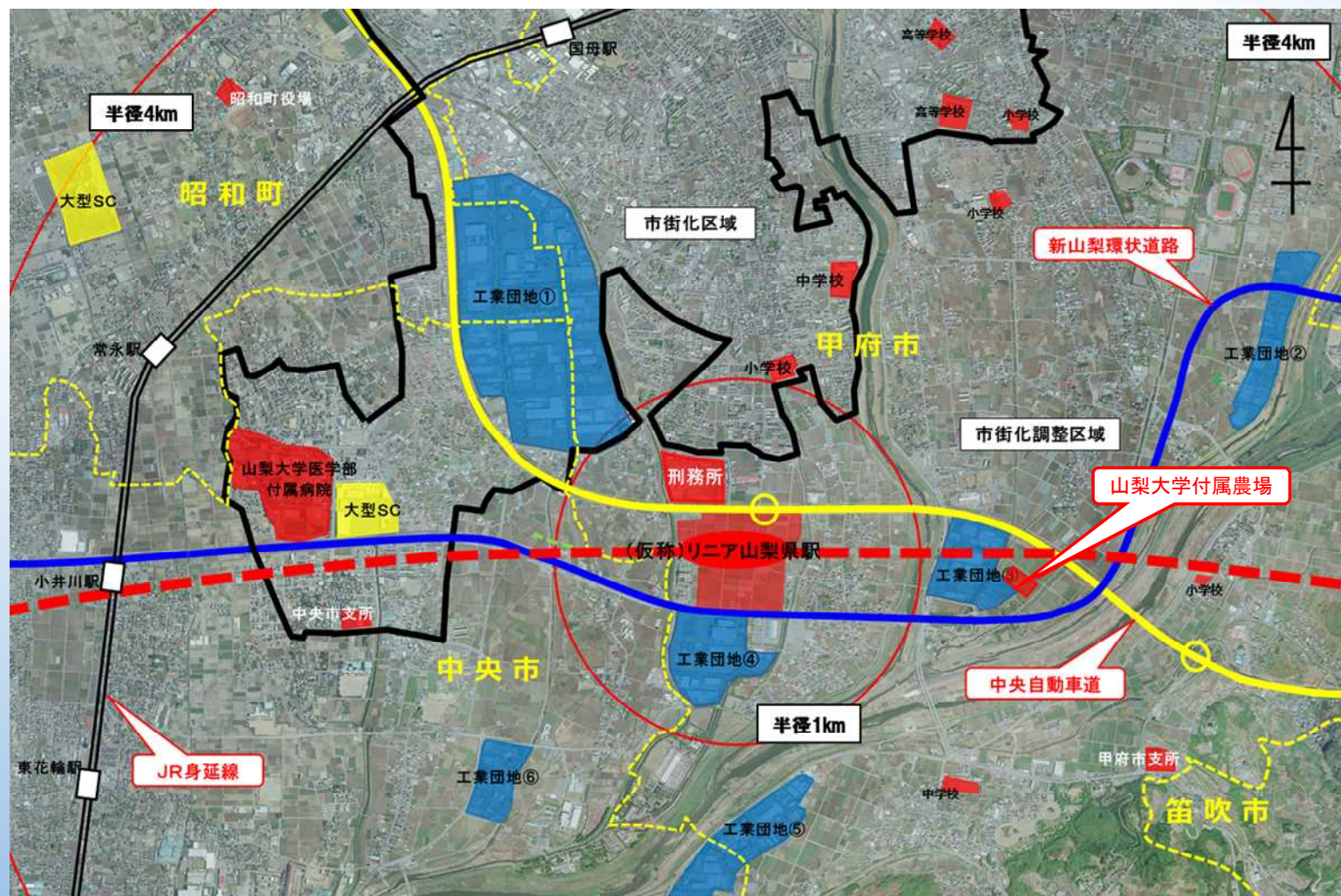
➤ 空港や港等へのアクセス性の大幅な向上

(例) 静岡空港⇒約110分 松本空港⇒約80分

静岡港⇒90分

4. 今後のまちづくりの可能性の検討

～リニア駅周辺及び近郊の状況～



【まちづくりに適した環境】

- 5つの工業団地が集積
- 優良な農地と広大な土地
- 利便性の高い高規格道路
- 在来線（JR身延線）
- 駅は、3市1町の行政境付近に建設
- 市内に5つの大学

4. 今後のまちづくりの可能性の検討

国・山梨県・甲府市の取組と動き

■ 甲府市

- 甲府市都市計画マスタープラン
- 甲府市リニア活用基本構想
- (仮称) 甲府市産業ビジョン
- 健康都市こうふ基本構想

■ 山梨県

- 産業・交流振興施設の整備
- スマートICの整備
- パーク&ライド用駐車場の整備
- 定住の促進
- 未来ものづくり産業の集積
- クリーンエネルギーの導入拡大

■ 国

- 第四次産業革命
- 東京一極集中の是正
- 全世代型社会保障改革

リニア中央新幹線の開業

- 大交流リニア都市圏の誕生
- 大都市圏との劇的な時間距離の短縮
- ライフスタイルの変化
- 暮らしの質の向上
- 経済の飛躍的な発展への期待

効果を最大限に享受

甲府市のエンジン
となる新産業
・成長産業の創出

成長・発展

連携・活用・推進

活用・克服

甲府市の状況等

- 人口減少と少子高齢化
- 就職先の選択肢の少なさ
- 主要産業の偏り
(第三次産業への依存)
- 継続的な歳入減少と歳出増加
- 高規格道路との優れた連結性
- アクセシビリティの飛躍的な向上
- 駅近郊に5つの工業団地の集積
- 優良な農地
- 広大な土地
- 5つの大学が集積

等

新産業・成長産業を創出し、最先端技術と緑豊かな自然が共生する活力と魅力溢れるまちの形成を図る

4. 今後のまちづくりの可能性の検討

～本市の目指す新産業・成長産業～

新産業・成長産業を創出し、最先端技術と緑豊かな自然が共生する活力と魅力溢れるまちの形成を図る

新産業

アグリテック

新産業として目指す背景

【優良農地と大学との連携の可能性】

- 周辺に優良農地が広がっている。
- 近くに山梨大学の附属農場がある。

【広域連携による行政基盤の強化】

- 農業基盤に強みを持つ自治体と、新産業を通じて広域連携を図り、それぞれの弱みを補い、行政基盤の強化を図る。

【既存成長産業としての基盤】

- もも、ぶどう、すもも等農業産出額の増加

農業産出額の推移

年	畜産	耕種
2014年	567	52
2015年	587	52
2016年	648	50

出典：農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」（農林業センサス結果等を活用した市町村別農業産出額の推計結果）

リエア開業と本市の特徴を最大限に活用

ヘルステック

新産業として目指す背景

【健康都市こうふ基本構想の推進】

- 甲府市の重要な施策。
- 健康関連企業との連携協定。

【健康長寿・高齢者有業率の高さ】

- 健康長寿男性1位女性3位。（平成28年）
- 60歳以上の有業率全国2位。（平成24年）

【大学との連携の可能性】

- 近くに山梨大学の医学部があり、連携により、事業拡大のポテンシャルがある。

【成長産業としてのポテンシャル】

- 人口減少下にあっても、高齢社会の進行に伴い、既存関連産業との連携と新産業としての需要が想定され、共に成長産業として期待できる。

新産業

次世代モビリティ

新産業として目指す背景

【次世代モビリティ産業が育つ環境】

- 水素・燃料電池における最先端の研究を、山梨県及び山梨大学が行っている。
- 必要な都市基盤と広大な土地がある。

【自動車中心社会】

- 1人当り・世帯当りの所有台数全国最上位。
- 公共交通が充足していない等の理由から、全国屈指の自動車中心社会となっている。

【最先端技術産業としての裾野の広さ】

- 日本の基幹産業として裾野が広いことから、市の核となる産業に育つ可能性がある。

写真 トヨタ自動車 e-palette (国交省HP)

4. 今後のまちづくりの可能性の検討

～本市の将来に向けた取り組み～

「甲府健康生きがいプロジェクト」

施策展開

「甲府健康生きがいプロジェクト」におけるPMOとの連携協定



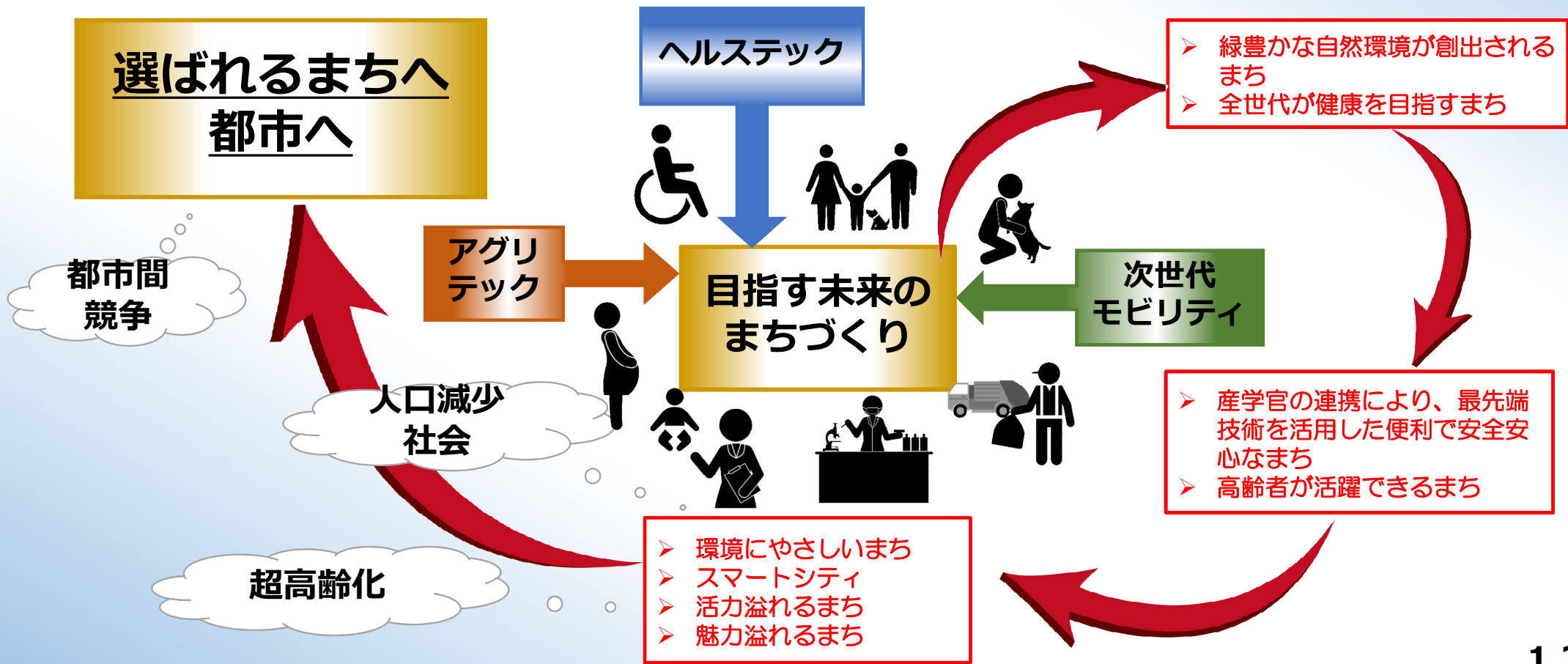
■ 甲府市の主な役割

- 甲府健康生きがいプロジェクト推進体制の構築
- 市民推進会議の設置
- 社会実証の場を提供
- 市民参画の仕組みづくり・呼びかけ
- データ提供のための制度整備
- ビッグデータの健康施策への活用 等

4. 今後のまちづくりの可能性の検討

～目指す未来のまちづくり・選ばれるまちへ、都市へ～

少子高齢化・人口減少という厳しい社会状況の中で、本市は来年度に中核市に移行します。選ばれるまちを目指し、最先端技術と緑豊かな自然環境が共生する活力と魅力溢れるまちを目指します。



4. 今後のまちづくりの可能性の検討

～観光振興への取り組み～

「受入環境の整備」

- 観光案内サービス・交通サービスの提供
- 環境美化
- **無料公衆無線LANの整備**

観光客の利便性の向上を図ることを目的に、『こうふSAMURAI Wi-Fiプロジェクト』として、関係機関と連携して無料公衆無線LAN（Wi-Fi）の整備を推進。



甲府市 ➡ 無料Wi-Fiの環境整備、プロジェクト推進

甲府市観光協会 ➡ Wi-Fi環境の設置、関連事業のサポート

NTT東日本山梨支店 ➡ 観光関連施設、協会員へのWi-Fi整備促進

「観光ツアーの実施や観光情報の発信・PR」

- **着地型観光ツアー等の実施**
(ワインツーリズム・宝石研磨技術見学ツアー等)
- SNSによる情報発信・多言語版観光パンフレットの発行
- 関東観光広域連携事業推進協議会に加入



ワインツーリズム



宝石研磨技術見学ツアー



ターゲットごとに特設サイト



活用の検討



インフルエンサー
モニターツアー
ファムトリップ



目指す将来像（イメージ）



A nighttime photograph of Mount Fuji, its snow-capped peak illuminated by the soft light of a sunset or sunrise. The mountain is centered in the background, with its dark silhouette contrasting against the colorful sky. In the foreground, a vast city is visible, its lights glowing in a dense pattern across the valley. The overall scene is a serene yet vibrant representation of a historic Japanese landscape.

つなぐ歴史 かがやく絆 こうふ開府500年

ご清聴ありがとうございました